

ほろみ通信

第86号

2019年6月13日

社会福祉法人

坂井輪会

発行元 〒950-2035 新潟県新潟市西区新通4734 TEL 025-269-1600 FAX 025-269-1571

令和元年



新管理者あいさつ

社会福祉法人坂井輪会

事務局長 細貝 昌明



この度、法人事務局長を拝命することとなりました。ケアハウス穂波の里施設長の細貝です。

平成6年4月、穂波の里開設時に入職し今年で26年目を迎えます。入職当時の配属先はデイサービスセンター穂波の里でした。その後平成10年7月に老人デイサービスセンターひばり、平成19年4月ケアハウス穂波の里に異動となり現在に至っています。

この四半世紀、高齢者介護分野では措置から保険への大転換が行われ、介護保険制度が導入されました。それ以前に穂波の里は、安心して住み続けられる福祉のまちづくり、人権尊重の援助を行うことを運営の理念にかかげ誕生しました。この間地域の皆様の二ス

に應えるべく、穂波の里に続く第二の拠点としての道場山穂波の里や、元号が変わった今年開設する地域センターたんぽぽ寺尾上等に何らかの形で携われたことは、私にとつて非常に貴重な経験でした。

これからは、前任の井上事務局長の跡を継ぎ、より一層地域の皆様に信頼され利用していただける施設運営をモットーに、職員一同全力で高齢者介護に取り組んでいきたいと思っています。法人全体を理念の面から、介護実践の面から、はたまた経営の面から総合的に見ていかななくてはならない重責をひしひしと感じています。是非とも皆様のご指導・鞭撻をお願いする次第です。宜しくお願いいたします。

特別養護老人ホーム穂波の里
施設長 古藤 悦子



この度、特別養護老人ホーム穂波の里施設長を4月7日付で命じ

られ就任いたしました。7年間、井上前施設長のもとで社会福祉法人の在り方、専門職としての視点、職場づくりの大切さを多く学ばせていただきました。

穂波の里開設と同時に入職し26年目を迎えます。学生時代に経験した実習施設では、認知症の方は男女共に仕切りやカーテンもないプライバシーが保てない中で生活し、扉には鍵がかかり職員が監視力メラのモニターで様子を確認し、つなぎ服や抑制ベルトもあたりまえのような施設で、認知症の介護はこつというものなのかと驚きました。

そのような施設が多い時代のなかで、法人の基本理念や人権尊重の援助をうたい、身体拘束防止の取り組みをかけた坂井輪会は、本当に凄いことをしている施設なんだ、と入職時に感じた事をはっきりと覚えています。

厳しい社会情勢ではありますが、穂波の里は地域の皆様に支えられ、多くの職員がよりよい援助のために試行錯誤し、ここまでの実践を積み上げてきました。

この原点に改めてたち、よりよい施設づくりを施設長として目指していきたいと思っています。今後皆様からのご支援を宜しくお願いします。

デイサービスセンター穂波の里
管理者 佐野 健一



4月1日から、前任の内田から管理者となりました佐野健一と申します。入職し、まだ4年目ですが、他事業所で8年ほど仕事をしておりました。

私がまず入職し思ったことは、「安心のよりどころ、福祉のまちづくり」との理念に基づき援助・支援していることに心を打たれたことです。穂波の里の開設までの歴史、日常的に地域の方やボランティアの方と関りがあること、私もそうだった歴史の1ページをみなさまと築き上げていきたいと思っています。

一人ひとりの会話の中での、さり気ない一言を大切に、援助・支援へとつなげていき、充実した時間を過ごしていただけるデイサービスを目指していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

令和元年6月 オープン!

西区寺尾上5丁目6番10号

社会福祉法人坂井輪会
地域センターたんぽぽ
寺尾上



5/26(日) 内覧会にて介護予防体操を体験

新たにスタート

- ・デイサービスセンターたんぽぽ寺尾上(通所型基準緩和サービス)
- ・ホームヘルプサービスたんぽぽ寺尾上(訪問型基準緩和サービス)

新しい場所で再スタート

- ・たんぽぽ拳(介護予防体操)
火曜日 10時～11時 参加費 100円
- ・たんぽぽ広場寺尾上(高齢者の居場所)
木曜日 10時～15時 参加費 500円(昼食代含む)

次号で
詳しくご紹介
いたします



苦情処理

第三者委員会報告

日時 平成31年2月26日

午前10時00分～11時00分

場所 穂波の里会議室

出席 山田 豊(評議委員)

森田法子(評議委員)

井上悦子(法人事務局長)

古藤悦子(特養副施設長)

苦情件数は昨年と同じ3件でシヨートステイ穂波の里2件、特養道場山穂波の里1件でした。

1件目は体調を崩されたご利用者の状態についての報告に対し、ご家族への伝え方や職員連携が不十分であったことが原因でした。医療面についての報告は看護師や相談員から具体的に、休日でも管理者報告を迅速に行うことを職員間で確認しています。

2件目は居室内の加湿器周辺の掃除について、ご家族よりご指摘をいただきました。家電製品は静電気で埃もたまりやすいため、居室掃除はこまめに行うよう注意し

ていきます。

3件目は、道場山穂波の里の屋上に設置されたエアコンの異音がうるさいとの苦情でした。住宅密集地域でも早期に修理し、今後も定期点検に努めていきます。

最後に評議委員より「多くの方が穂波の里を利用しているが、転倒や事故が苦情としてあがってこないことをすごいと感じている。身体拘束はもう行っていないが、センサーマットも使用していないというところは、きちんとした援助がされているということ。また、苦情から学ぶ姿勢もあり、いずれも苦情対応としては良かったと感じる。」と意見いただきました。(古藤)



職員の永年勤続(20年)表彰

地域包括支援センター坂井輪

平成23年道場山穂波の里が開設され、同年10月より4階の地域交流スペースにて、介護予防体操『ほなみ道場』を始めました。施設は住宅地の中にあり、歩いて通える場所で開催できる介護予防体操の場を提供したいとの思いがあったからです。おかげさまで8年目を



ほなみ道場(年数回学習会を開催)

道場山穂波の里 4階

迎え、毎回50人前後の方が熱心に通ってくださっています。この『ほなみ道場』をきっかけとして、介護予防体操の取り組みを進めていくこととなります。

法人が高齢者の居場所として借り上げた空き家のたんぼぼ広場坂井東・寺尾上にて平成27年11月それぞれ『運動サークル』『たんぼぼ拳』がスタートしました。参加人数



たんぼぼ拳

地域センターたんぼぼ寺尾上

介護予防体操
より身近な場所です



さかい東3²クラブ

坂井東3丁目自治会館



てらお新町健康クラブ

寺尾新町第1自治会館



さかしん健康クラブ

坂井輪診療所 2階

ない市の介護予防事業を少しでも進めたいとの思いがあったこと、そして何より労金様のご協力があったて実現したものです。
平成28年9月から始まった『てらお運動サークル』ですがお借りしていた場所が使えなくなり、解散となるピンチではありましたがピンチをチャンスに変えようと、より身近な場所に新たに立ち上げるため昨年10月より奔走し、今年度4月から『さかい東3²クラブ』『さかしん健康クラブ』『てらお新町健康クラブ』の3ヶ所がスタートしています。この立ち上げにあたって協力してくださる自治会や民生委員、地域の団体や有志の

方など多くの方々に支えられ、改めて感謝の気持ちと地域の力というものを心強く感じました。

は少なくともより身近な場所での地域のつながりを大切にしたいとの思いがあり、またこれが地域の方や団体との協働の始まりでもあります。『たんぼぼ拳』で地元自治会の現役を含む歴代会長6名の協力を得られたことは異例であり、平成19年5月同所で開設した『たんぼぼ広場寺尾上』で培った信頼関係によるところが大きかったと考えます。また、健康友の会坂井東・新通支部の皆さんの協力も大きな力となりました。

『運動サークル』はその後会場として使用していた『たんぼぼ広場坂井東』の閉鎖という窮地に立たされましたが、近隣にあるサービスパイ付き高齢者向け住宅『笑日和坂井』



運動サークル笑

笑日和坂井



元気になる家

松海が丘3-10-3

真砂圏域にあります法人が運営する『元気になる家』でも週1回介護予防体操に取り組んでいます。坂井輪圏域に比べ自治会館等集まる場所が少ないため、歩いて通える場所で開催して行える介護予防体操の取り組みがまだまだ進んでいないのが現状です。今年度五十嵐・真砂圏域に新たな介護予防体操の集まりを立ち上げたいと頑張っているところです。

他にも認知機能低下予防に特化した体操の集まりを、認知症サポート医や専門職、地域の有志の方のお力をお借りし、平成30年6月からモデル的に取り組んでいます。

坂井」様のご理解とご厚意で、食堂の空き時間を会場として貸していただけることになり存続が可能となりました。名称を『運動サークル笑』と変え、場所が広くなったこと、開放的な場所であること、担い手の方々の工夫もあり、以前より人数が増え活気に満ちた集まりになっています。

『ろうきん体操』は平成30年6月より開始しています。新潟市が考案した体しゅきり体操が平成29年DVD化され、様々な集りで容易に取り入れることができるようになりました。近隣地域の方が集まる場所がないという地域課題を自治会長訪問にて把握していたこと、加えてまだ十分とは言え



ろうきん体操

新潟県労働金庫新潟西支店(旧ローンブラザ)

名 称	毎 週	時 間	4・5月 平均参加 人数
たんぼぼ拳	火曜日	10:00~11:00	12名
ろうきん体操	火曜日	① 9:30~10:30 ② 10:45~11:45	57名
さかい東3 ² クラブ	火曜日	10:00~11:00	16名
ほなみ道場	水曜日	① 9:30~10:30 ② 10:45~11:45	52名
さかしん健康クラブ	水曜日	10:00~11:00	12名
てらお新町健康クラブ	水曜日	10:00~11:00	15名
元気になる家	木曜日	10:00~11:30	10名
運動サークル笑	金曜日	9:45~10:45	24名
脳力アップ道場	金曜日	10:00~11:30	16名
合 計		(重複含め)	214名

このように包括が主催もしくは共催でかかわる集まりだけでも、毎週おおよそ200名以上の高齢者の方々が自ら介護予防に努めていることとなります。(※右表参照)
包括としてのかかわりも様々ですが、介護予防体操をきっかけに、より身近な顔の見える関係が広がり、参加者同士が気にかけて合う関係となることが期待されます。そして、さらに発展し、参加されていない方を気にかけるようになれば、地域づくりの拠点となるのではないのでしょうか。

介護予防体操の詳細につきましてはお問い合わせください。

☎269・1611

(梁取)

2018年度 穂波の里 1年間のまとめ

〔在宅部門〕

デイサービス	穂波の里 (定員30名)	ひばり (定員30名)	道場山認知症 (定員12名)
年間延べ利用者数	7,664名	3,106名	1,931名
一日平均利用者数	21.2名	10.0名	5.3名

配食サービス	
2019. 3 利用実数	35名
年間延べ配食数	6,090食
委託業者	4,262食
自主事業	1,828食

ショートステイ	
年間延べ利用人数	9,999人
一日平均利用数	27.1名

〔ケアハウス〕

2019. 3 末	入居者数	38名
	自 立	15名
	要支援1	5名
	要支援2	7名
	要介護1	5名
	要介護2	3名
	要介護3	3名

〔グループホーム〕

2019. 3 末	要支援2	0名
	要介護1	1名
	要介護2	4名
	要介護3	1名
	要介護4	3名
	計	9名

	ヘルパー派遣		
認知症 (2名)	2019. 3 利用実数		43名
	年間延べ派遣	回数	時間
	介護給付身体介護	1,630	1,125
	介護給付生活援助	1,580	1,123
	総合事業(現行担当)	1,297	1,459

地域包括支援センター	
総合相談 (延べ件数)	8,742件
権利擁護 (延べ件数)	637件
困難事例 (ケアマネ支援・延べ件数)	606件
予防ケアプラン (2019. 3. 31現在)	624件

地域あんしんサポートセンター

らくらくショッピング	利用回数	87回
------------	------	-----

※買い物支援サービス

居宅介護支援事業	
ケアプラン (2019. 3)	255件

〔道場山穂波の里入居部門〕

2019. 3 末	実 数	29名
	要介護3	12名
	要介護4	8名
	要介護5	9名

〔入居部門〕

①平均年齢	
2017. 3 末	87.9歳
2018. 3 末	88.0歳
2019. 3 末	87.8歳

③要介護度 (2019年3月現在)	
要介護3	14名
要介護4	38名
要介護5	28名
平均要介護度4.18 (前年度4.23)	

⑤入居申込数、待機者数	
年間申込数 (2018年度)	84名
2017年3月末現在待機者数	234名
2018年3月末現在待機者数	153名
2019年3月末現在待機者数	163名

⑦リハビリ実施状況	
作業リハ	延べ 1,066名
小集団リハ	延べ 2,375名
個別リハ	延べ 1,437名

⑨入居者の会	
世話人会	月 1 回
グループ会	各月 2 回 (3 グループ)

- ⑩地域との連携
- ・春秋の草取り大作戦では職員研修の一環として参加継続し地域の皆様と関わる事ができました。入居者・利用者については盆踊り大会は酷暑で短時間のみ、健康まつりは開催時間の変更から午後参加となり、なじみの方とゆっくり過ごす機会が持てず残念でした。今年度は入居者・利用者に楽しんでいただけるよう各種運営団体と運営方法を模索していききたいと思います。また、職員からは「地域やボランティアさんの協力があってこそ入居者の生活を守ることができる」「穂波の里らしい盆踊り大会ができると感じる」等。衣類たたみやシーツ交換等、職員では不十分なことに支援を多くいただいていると、感謝の気持ちが聞かれました。挨拶・気配りに職員も努めていききたいと思います。

②退去された方の状況	
2017. 3 末	15名 (入院退去 10名 施設看取り 5名)
2018. 3 末	23名 (入院退去 12名 施設看取り 9名 療養型 1名)
2019. 3 末	14名 (入院退去 8名 施設看取り 6名)

④医療状況		
入院 30件 (前年度36件)	経管栄養	5名
	胃ろう栄養	2名
	尿道カテーテル	5名

⑥待機場所	
介護老人保険施設	50名
介護療養型	3名
一般病院	28名
在宅 (CH・GH・SS)	79名
その他	3名
待機数合計	163名

※CH ケアハウス、GH グループホーム、SS ショートステイ

⑧サークル等	
書道	延べ 177名
集団体操	延べ 369名
太極拳ゆったり体操	延べ 673名

在宅部門

2018年度のまとめと2019年度方針

ショート・デイ・ヘルパー3事業のうち、デイ・ヘルパーについては昨年の介護報酬改定の影響を強く受けました。市内の社会福祉法人では、デイ・ヘルパー事業を休止、廃止するところも出ていていると聞いています。一方で、地域の皆様の介護予防に対する意識が高く、地域包括支援センターが中心となり地域の団体や有志の方々と協働で介護予防体操や認知機能低下予防等要介護状態にならないための取り組みを進めることができました。今年度は、地域センターたんぽぽ寺尾上も竣工し、新たな地域支援の拠点としての機能と役割を追求するチャレンジの年となります。地域住民の皆様と協力しながら安心して住み続けられる福祉のまちづくりを進めます。

入居部門

2018年度のまとめと2019年度の方針

インフルエンザやノロウイルス等の感染症は流行を防ぐことができました。ご家族や面会の方よりマスクや消毒にご協力いただいたり、面会自粛に配慮いただいた結果と感じています。また、施設としても流行期には業者の出入りを極力控える等の対応をしました。入居者は90代の方が約半数おり、要介護度4・5の方も8割以上です。重度化傾向ではありますが、新入居のご家族や見学、実習生から、入居者がとても活動的に過ごされており、職員からの声かけも多く自立支援に努めているとの感想をいただきました。今年度も入居者一人一人に寄り添いながら、個々の状態に応じた自立支援を行なっていきます。また、職員も個別目標をかかげ専門職としての力量を高めていききたいと思います。



特養 道場山 穂波の里



ケアハウス 穂波の里



特養 穂波の里



「捨て布」募集のお願い
 日頃、当施設へのご理解・ご協力を頂き誠にありがとうございます。
 感染症対策のため掃除用の捨て布を募集しております。
 タオルや綿の衣類等、不用品や使い古しの物がございましたら、ご寄付いただくと助かります。
 ご協力を宜しくお願いします。

穂波の里 施設長



千趣会の皆様の踊り



ショートステイ 穂波の里